

【調査票3】若者／自由記述

Q4. あなたは誰と住んでいますか（あてはまるものすべて。Q3で「同居人あり」を選択した人のみ）また、住まいについておたずねします。（どれか1つ）

同居家族 <ul style="list-style-type: none"> ・父 ・母 ・兄弟姉妹 ・祖父 ・祖母 	<ul style="list-style-type: none"> ・おじ・おばなどの親戚 ・配偶者 ・子ども ・答えたくない ・その他の人（自由記述） 	住まい <ul style="list-style-type: none"> ・持ち家 ・賃貸 ・答えたくない ・その他（自由記述）
---	--	---

男性
学生寮
女性
学生寮
社宅
父の持ち家

Q7. 既婚の方、交際相手がいる方にうかがいます。出会いのきっかけは何ですか。（どれか1つ）

<ul style="list-style-type: none"> ・学校で ・幼なじみ、隣人関係 ・友人や兄弟姉妹を通じて ・結婚相談所で ・アルバイトで ・答えたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場や仕事の関係で ・学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で ・見合いで（親戚や上役などの紹介も含む） ・街中や旅先で ・インターネットや結婚アプリで ・その他（自由記述）
---	---

男性 20-24 歳
自動車教習所にて
男性 25-29 歳
アプリ
女性 20-24 歳
マッチングアプリ

Q11. Q10（社会人で「仕事をしている」方）で「非正規雇用」及び「自営業、フリーランス」と答えた方におたずねします。その理由はどのようにしてですか。（あてはまるものすべて）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 自由に休暇等がとれるなど、自分の生活スタイルに合っているから 2. 今の仕事に満足しているから 3. 自分のやりたいことのための時間をとれるから

4. 適当な職場が見つからないから	5. 就職活動がうまくいかなかったから
6. 会社が倒産、もしくは解雇されたから	7. やりたいことがわからないから
8. 働くことに自信がないから	9. 健康上の理由から
10. 家事や育児、介護など、家庭の理由から	
11. 答えたくない	12. その他（自由記述）
男性	
正規雇用も経験して、自営業のほうが面白いと感じたから	
女性	
社会人学生のため	

Q13. あなたが自分の将来の生活・生き方について、特に大事にしたいと考えていることは何ですか。（あてはまるものすべて）

1. 自分の才能や能力を生かして活躍する	2. 幸せな家庭をつくって楽しく暮らす
3. のんびり気ままに暮らす	4. お金がたくさんある豊かな生活をする
5. 社会の役に立って活躍する	6. 答えたくない
7. その他（）	
男性/19歳まで	
分からない	
男性/20-29歳	
できる限りリモートワークで家で仕事をしたい。	
心配事を極力少なく、ストレスなく暮らしたい	
老後やライフイベントの際の苦難を出来るだけ軽減させるような生活	
特に考えてない	
女性/19歳まで	
お金を稼いで、家族の助けになりたい	
女性/20-29歳	
楽しく生活する	

Q18. Q16で結婚したいと思わない、わからないと回答した方におたずねします。
理由は何ですか。（3つまで）

1. 自由に趣味や娯楽を楽しみたいから	2. 仕事（学業）に集中したいから
3. 行動が制限されるから	4. 家族扶養の責任が生じるから
5. 自由になるお金が減るから	6. 他人との生活はストレスがたまるから
7. 親元から離れなくてはならないから	8. 自分の健康上の理由
9. 家族の世話や介護をしているから	10. 経済的に厳しいから

11. 奨学金の返済が終わらないから	12. 答えたくない
13. その他（自由記述）	

男性／19歳まで
異性と関わるのは苦手であり、うまく交際できる自信がないから
分からない
男性／20-24歳
結婚したいと思う相手がいない
現在相手がいないくて実感がわからないから。
男性／25-29歳
誰かと暮らしたい気持ちはあるが、それと結婚するかどうかはまた別の問題だから。話し合った結果結婚することはありませんと思う。
女性／19歳まで
パートナーを幸せにする自身がないから
最近、お別れをしたばかりなので、そのような願望が薄れてしまった。
特に理由はない／分からない／どちらでもいい
女性／20-24歳
そこまで考えてない
結婚したいと思う人が現れればしたいが、探してまで結婚したいと思わないから。
結婚しなくても一緒にいることができればいい
結婚という制度の意義・必要性があまり分からないから／結婚をする理由が無いから
結婚に興味がないから
結婚に対して漠然としたイメージしかなく、なんとも言えないとしか言えないから。
結婚をしてまで現状を変えたくないから。
親と両家祖父母、叔父など身近に離婚している夫婦が多く結婚生活に希望が無いため
他人と一定以上の信頼関係を築ける自信がないから
理由は特にないけど、面倒くさそうだから

Q19. あなたはどんなときに結婚を考えますか（考えましたか）（3つまで）

1. 結婚したい相手と出会った時	2. 結婚したい年齢になったとき
3. 社会人としてある程度経験を積んだ時	4. 貯蓄ができたとき
5. 友人や知人が結婚した時	6. 親や親せきに勧められた時
7. 親に老いを感じたとき	8. 妊娠した時
9. 子どもが欲しいと感じたとき	10. 答えたくない
11. その他（自由記述）	

男性／19歳まで
趣味を邪魔されない環境が出来たら
分からない

男性／20-24 歳
結婚はしたくない
互いに就職先を見つけて安定した生活を送れる目処がたった時。
女性／19 歳まで
お付き合いしている人と一緒に過ごしている時
この人とずっと一緒にいたいと思った時
そもそも関心がない。人が嫌い。私だけで十分だ。信用できる友人はいた方がいいが、家族をつくる必要なんてない。
周囲が結婚している状況を見て自然とそう考えていた。
長く付き合ってるから
女性／20-24 歳
お見舞いなど家族、親族しか入れないところに入る時
したいと考えてない／考えたことない
異性との生活が安定した時
女性／25-29 歳
ない
どちらともいえない／30-34 歳
いかなる場合でも結婚は考えていない
答えたくない／19 歳まで
結婚したいと全く思わないから、ない。

Q20. あなたが結婚相手に求める条件として重視する（した）ものは何ですか。
（3つまで）

・相手の学歴	・相手の職業
・相手の収入など経済力	・相手の人柄
・相手の容姿	・共通の趣味の有無
・自分の仕事への理解・協力	・家事や育児の能力・姿勢
・答えたくない	・その他（自由記述 ）

女性／19 歳まで
自分のことを理解してくれるか
尊敬できるかどうか
特になし
女性／20-24 歳
愛してくれる人
価値観の一致
自分の趣味への理解
特になし

女性/25-29 歳
価値観の一致

Q 2 1. あなたの結婚のイメージに近い (近かった) のはどれですか (3つまで)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的に余裕ができる ・ 精神的な安らぎを得られる ・ 自分の家族や子どもが持てる ・ 親から独立できる ・ ひとりの時間が減る ・ 家事負担が増える ・ その他 (自由記述) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的信用を得られる、周囲と対等になれる ・ 愛情を感じている人と一緒に過ごせる ・ 生き甲斐ができる ・ 親を安心させることができる ・ お金の自由がなくなる ・ 答えたくない
---	--

男性/20-24 歳
子をつくることで生き物全ての子孫繁栄を守れ、両文化や生活を共有・見直しの機会になれる。
女性/19 歳まで
病気で動けなくなっても相手を支えられるか、あるいは支えてくれるのか
女性/20-24 歳
孤独死しなくて済む

Q 2 2. 結婚を望む人が結婚できるよう行政が行う支援で何が必要ですか (3つまで)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 異性との出会いの機会の提供 (パーティなど) ・ マッチングアプリ (AI マッチングシステムなど) の充実 ・ 結婚祝い金などの金銭的支援 ・ 結婚のためのセミナーの開催 ・ 正規雇用として働ける就労支援 ・ 交際相手探し (婚活より気軽な出会いの提供) のマッチングアプリサービス ・ 答えたくない ・ その他 (自由記述)
--

男性/19 歳まで
わからない
男性/20-24 歳
子育てに関わる費用の助成
男性/25-29 歳
直接結婚がちらつくより、趣味の集まりなどラフに人と会える場所があるなら行ってみたいです。
女性/19 歳まで
とくに行政が支援しなければいけないことはない。
結婚した人へ向けた待遇サービス

結婚後のサポート (通院補助や保育園、学童など)
大人の人が通える習い事 (趣味を通して出会う場の提供)
女性 / 20-24 歳
異性に限らず結婚できる制度の確立
学校での指導 (常識や他人の気持ちを知る授業)
減税して個人が持てる資金を増やす
子育て支援 (産休)
趣味や仕事などをのコミュニティづくり
住宅など、過ごしやすい環境の整備やその情報の提供
積極的に行動できる人が結婚したい場合には、自分で動けると思うので、おとなしい人や異性と会うことに抵抗がある人をターゲットにしたものが必要だと思う
特になし。少子化を改善するために、結婚を推進することが、間違いであって、何も改善しないと思う。
女性 / 25-29 歳
支援金があれば、大きなきっかけになると思う
女性 / 30-34 歳
福祉制度の充実
どちらともいえない / 20-24 歳
同性婚を認めること

Q 2 7. 取り組んでいる健康管理はありますか。(あてはまるものすべてに○)

<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスの良い食事をこころがけ、適正体重をキープしている。 ・ 1 5 0 分/週 運動している。 ・ たばこや過度の飲酒は控えている。 ・ 必要なワクチンを接種している。 ・ 性感染症など、感染症から自分を守っている ・ ストレスをためこまないようにしている。 ・ 将来の妊娠・出産をライフプランとして考えている。 ・ 答えたくない ・ その他 (自由記述)

男性
特に何もしていない
女性
なるべく歩くようにしている (降りるべきバス停の数個前で降りて歩く、近い距離はなるべく歩く)
よく寝る
運動は 1 時間以上はしています。
人と関わることで社会性の獲得を継続すること。
毎日ヤクルト飲んでる
葉酸を摂取

Q33. 子どもが欲しい方にお聞きします。あなたが理想とする子育てのライフスタイルをおたずねします。(結婚している人は結婚前に考えていたライフスタイル)

1. 正規雇用で育児休業制度などを使わず、子を持つ前と変わらない条件で働きたい
2. 正規雇用で育児休業制度や短時間勤務制度を利用しながら働きたい
3. 非正規雇用で都合の良い時間帯だけ働きたい
4. 一定期間は働かずに自分で子育てしたい
5. わからない
6. 答えたくない
7. その他 ()

男性/25-29 歳
自営業なので自分でコントロールしつつ、できることは変わらず続けたい
男性/答えたくない
給料は据え置きで育休や時短勤務が使って働くことができる

Q34. 子どもが欲しくない、方におたずねします。理由は何ですか。(3つまで)

1. 子育ては大変そうなイメージがある	3. 経済的に負担がある
2. 仕事と子育ての両立が難しいと感じる	5. 時間にゆとりがなくなる
4. 精神的に負担がある	7. その他 (自由記述)
6. 配偶者・パートナーとの時間が無くなる	

女性
子どもが好きではないから
子どもを育てることは責任が重いとを感じるから。
子供に愛情が持てなさそう
子供を真っ当に育てられる自信がない
自分のコンプレックスを子どもに押し付けてしまいそう
障害を持って産まれてくる可能性が高いから
妊娠に拒否感がある。
どちらともいえない
子どもに生きてほしい社会ではない

Q35. あなたはいままで子育ての楽しさや大変さについて学んだり、考えたりする機会がありましたか(どれか1つ)

1. 学校等で機会があった	2. あった気がするが具体的には覚えていない
3. 今まで機会がなかった	4. 答えたくない
5. その他 ()	

男性
一回国以上年の離れた妹数名/兄弟のお世話/家族との生活の中

親戚子供いる
知人の経験談や SNS での経験談を見聞して…
日常生活であった
女性
7つ年下の弟の育児に関わった際に、その楽しさや大変さを学んだ
Youtube の子育てについての動画、近くに住む義理の姉の子育てなどを見て少し学べた。
ふとした時よく考える
兄弟や友人が結婚し、育児する様子を見て、学んだり考えたりした。
歳の離れた兄弟／親戚の子供
両親を見て、大変そうだなと思いました。

Q 37. 今後県が力を入れた方がいいと考える少子化対策・子育て支援はどれですか。(3つまで)

1. 結婚支援のための出会いの場の創設
2. 進学のための奨学金給付
3. 保育所や放課後児童クラブ等の充実
4. 病児・病後児保育、一時保育・休日保育の充実
5. 屋内外の子どもが遊べる場所の整備
6. 残業の縮減や休暇の取得促進などの働き方改革の推進
7. 妊娠・出産による離職者の再就職等の促進
8. 若者の就労支援（就職活動方法の支援も含む）
9. 医療費の助成や小児医師の確保、不妊治療の支援
10. 妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制の強化
11. 家庭での家事・育児援助（ファミリーサポートセンターなど）や子育て支援事業の充実
12. 児童虐待対策の推進
13. 男性の子育て参加の推進
14. いじめや不登校、貧困やひきこもり、ヤングケアラー等困難な状況にある青少年への支援
15. 未就園児の支援
16. 答えたくない
17. その他（ ）

男性
60 歳以上の介護負担への試み
金がないことには仕事をやめられない
選択肢の全てをしっかりと行うべき
働き手不足の解消
保育関係福祉関係に務める人への給与増額／保育士への給料アップ

女性
とりあえず全部やれば良いと思う
家庭や子ども持てるだけの給与(手取り)の充実
子供関連はすべて力を入れてほしい。出会いの場はあまり必要ではない。
私立保育園などにも、支援を充実させる
出産した事で起きる病気などのサポートが必要だと思う
当事者の意見を積極的に取り入れ、その立場にない人の意見を優先しない
特になし。行政には期待していない
どちらともいえない
給付金